

提出された意見の概要及び意見に対する考え方一覧

番号	項目	ページ	意見の概要	意見に対する考え方
1	副題	表紙	「魅せる」とは、記者ハンドブック(共同通信社)第13版p488によれば、文法的に誤りであり、正しくは「魅する」とすべき。文語的表現であり、実際に同音の当て字として「魅せる」と表現される例が散見されるものの、指針のタイトルとしては避けるべき表現ではないか。例えば「魅力あふれる群馬の文化発信プラン」など。	指針の正式名称は「第2次群馬県文化振興指針」であり、副題は広く県民に親しみをもってもらうことを目的としています。 『三省堂国語辞典』(第7版)及び『広辞苑』(第7版)では、「魅せる」という語が「見せる」と「魅する(魅了する)」の意味を併せもつ合成語(当て字)と定義されており、一般に浸透している語であると思料されることから、原案のままとします。
2	第3章 プロジェクト1	11-12	群馬の特色ある文化の活用と発信について、みなかみ町や沼田市などの各地で取り組まれている「星空観光」も取り上げてほしい。	文化振興指針は、計画期間における文化振興の方向性を示すものであり、その方向性に沿った主な取組のみを紹介していることから、個別の取組・個別の団体に対する支援についての記載は差し控えています。 一方で、行政と関係団体との連携は重要な取組であることから、「第4章 文化の振興に関する基本的施策」-「ぐんま天文台運営」の事業概要のなかで、関係団体との協働を図る旨を明記します。 教育委員会の施設については、プロジェクト5に記載をしています。
3	第3章 プロジェクト5	20	星空を群馬県の観光資源として活用することや、そのために県内各地の星空観察会実施団体の支援等を行う旨を追記してほしい。	
4	第4章 基本理念2	26	県立施設でのボランティア活動と、ぐんま天文台など教育委員会の施設も紹介してほしい。	
5	第4章 基本理念3	26	ぐんま星空観光推進連絡協議会が、旅館組合など観光業界に携わる人々向けにぐんま天文台で実施している星空案内の講習に言及してほしい。	
6	第4章 基本理念4	26	「星空案内人(星のソムリエ)資格認定講座」を、ぐんま天文台で開催していることに言及してほしい。	